



目的

従来の食品ロス削減に向けた普及啓発はHPやチラシにより、「食品ロス」というキーワードを広く認知してもらうことを主眼としていた。今後は、従来の普及啓発に加え、「楽しく・お得に・スマート」に社会貢献できる具体的な方法（手段）を提案し、実践行動を促す。

方法

日常の中で売れ残りや食べ残しを防ぐ賢い消費選択が可能となる先進的サービスを提供している次の事業者と連携協定を締結し、食品ロス削減につながる行動が、食品の生産・販売者と消費者の双方にとってWIN-WINとなる仕組みをつくる。



(株)コークッキング

(提供サービス：TABETE タベテ)

自治体との実績等：杉並区と協定を締結（2020.4.22）。他7自治体と協定締結。

- ①廃棄される恐れのある食品を抱える商店や飲食店が食品を「TABETEアプリ」に登録、消費者にレスキュー（買い物）を依頼。
- ②消費者（食べ手）は「TABETEアプリ」から情報を受け取り、お買い得価格で購入（飲食）する。
- ③売り上げの一部は子ども食堂やNPO団体へ寄付される。



(株)クラダシ

(提供サービス：KURADASHIクラダシ)

自治体との実績等：横浜市と協定締結2020.2.27)

- ①食品メーカーや商店等で通常廃棄されていた食品をクラダシが買い取る。
- ②買い取った食品はクラダシのインターネットサイトでお買い得価格で販売。
- ③売り上げの一部は大田区で活動するグッドネーバースジャパンを含むNPO法人等の社会貢献活動への支援金として活用。

● 区の役割

- 1 区のホームページや広報物、イベントなどでの協定先サービスの情報発信
- 2 区内事業者や食べきり応援団登録店への協定先サービスの情報提供
- 3 大田区商店街連合会や大田区産業振興協会を通じた区内飲食店への協定先民間サービスの情報提供
- 4 大田区ツイッターによる協定先民間サービスについての情報発信
- 5 他自治体への協定先民間サービスについての情報発信など

● 事業者の役割

- 1 区の商品ロス削減に向けた事業との連携
- 2 大田区内における実績資料の提供
- 3 区の広報等に対する広報資材の提供
- 4 事業者による区事業のPRなど